

## 浸水深データ (Yanagihara et al., 2024, International Journal of Disaster Risk Reduction)

2025年3月28日

柳原 駿太<sup>a</sup>, 風間 聡<sup>b</sup>

<sup>a</sup>E-mail: yanagihara.hayata.r1[at]dc.tohoku.ac.jp

<sup>b</sup>E-mail: so.kazama.d3[at]tohoku.ac.jp

### ● 浸水深データの利用について

浸水深データ (以下, 「本データ」といいます.) は, どなたでも利用規約に従ってご自由にご利用頂けます. 本データの利用に当たっては, 以下の利用規約に同意したものとみなします.

### ● 利用規約

1. 本データを利用する際は出典を記載してください. 出典は以下の通りです.  
Yanagihara, H., Kazama, S., Yamamoto, T., Ikemoto, A., Tada, T. and Touge, Y.: Nationwide evaluation of changes in fluvial and pluvial flood damage and the effectiveness of adaptation measures in Japan under population decline, *International Journal of Disaster Risk Reduction*, Vol. 110, 104605, 2024. <https://doi.org/10.1016/j.ijdr.2024.104605>
2. 本データの利用において, 同封されている「Readme.pdf」および浸水深データの計算手法が書かれた1.の出典論文を必ずご確認ください.
3. 本データを使用する際には, 使用目的と所属をデータ作成者に連絡してください.
4. 本データを編集・加工して利用する場合は, 上記出典に加え, 編集・加工を行ったことを記載してください.
5. 本データの内容の再配布を許可無く行ってはいけません.
6. データ作成者は, 利用者が本データを用いて行う一切の行為について何ら責任を負いません.
7. 本データは予告なく変更, 移転, 削除が行われることがあります.

### ● 本データに関する注意事項

- 本データの容量は, 解凍前で 27.1GB, 解凍後で 332GB です.
- 浸水深データには河川の水深も含まれています. 河川マスクデータ (河川セル=1) をご確認ください. とともに, 河川セルの値は浸水深ではないことにご留意ください.
- 流域全体に雨を降らせて洪水を発生させるという手法の特性上, 最大浸水深でみた場合, 全てのセルで浸水が発生しています.
- 出典論文で言及されている土地利用規制およびピロティ建築について, これらを実施した場合の浸水深データは存在しません. これは, 浸水深の計算後に行われる被害額の算出において, 土地利用規制およびピロティ建築の効果を反映しているためです.